



四日市市立
港中学校だより

青葉匂う

令和8年1月8日

No.10 発行:校長

3学期のスタート ～新年あけましておめでとうございます～

昨年は保護者の皆様、地域の皆様にはたいへんお世話になり、誠にありがとうございました。本年も変わらぬご支援、ご協力のほど、よろしく願いいたします。1月は1年の始まりの月ですが、学校では1年を締めくくる3学期の最初の月でもあります。今日の始業式では、次のお話をしました。

新年あけましておめでとうございます。今年は令和8年、2026年です。新年を迎えるにあたり、人は大みそかに除夜の鐘を突いたり、年が明けてからは初詣に行ったりして、気持ちを新たにします。「一年の計は元旦にあり」という言葉がありますが、皆さんは新年の計画や誓いなどを立てましたか。物事は始めが大切、新年という大きな区切りに、しっかりと計画を立て、目標を持ち、決意を新にして確実に実行していきましょう。



さて、2学期の終業式では、学び舎音楽会の際に聞いた、個性を持った楽器の音色が合わさって演奏されるオーケストラの楽曲の素晴らしさが、人にも言えるのではないかということと、一人一人が集まり、集団で何か一つの事に取り組むとき、素晴らしい経験や感動的な体験が生まれるのではないか、ということをお話しました。皆さんには、この3学期も様々な経験を積んで、もう一つの大きな区切り、3月の学年末に向けて成長してほしいと思っています。

まず、3年生はいよいよ進路の実現に向けて最終段階に入りました。人によって目指す進路は異なりますが、それぞれの目標達成を目指して頑張ってください。そして、3月の卒業式には、すてきな式歌「シー ユー アゲイン」をみんなで歌いましょう。

次に、2年生は2か月後には港中学校の最上級生になることを自覚してください。生徒会や委員会、様々な行事などで港中をリードして行けるよう、この3学期に一人ひとりが力と意識を高め、クラスや学年のまとまりを磨いていってほしいと思います。

最後に、1年生はこの3学期の内に、先輩になる準備をしっかりとってください。これまで部活動や行事、普段の生活などで、いろいろなことを上級生に教えてもらったり助けてもらったりしてきたと思います。4月に入学してくる新入生に同じようなことができるように、一年生も一人ひとりが力と意識を高め、クラスや学年のまとまりを磨いていってほしいと思います。

どの学年の人も、それぞれがこの3学期を充実させ、意味のある学期にしてくれることを願っています。